

世田谷のみどりの可能性を探るシンポジウム

みどりとみずのシンポジウム第1弾

かつての豊かなみどりを再生！ さらなる可能性を探る！

世田谷のみどりは平成23年の調査で減少しており、目標の**みどり33**からほど遠い結果となりました。

みどり33の達成には思い切った施策の実施と共に発想の転換が必要です。喜多見地区周辺には国分寺崖線の豊かなみどりが残り、砧公園や多摩川等のまとまった緑地もあります。これらを繋ぎ、一体のみどりとして発展させていくことも重要です。

この度、海外や先進的なみどりの事例に詳しい講師を招き、みどりのシンポジウムを開催いたします。農地や樹林地の減少が課題となっている中、7月には東京外かく環状道路東名ジャンクション(仮称)上部空間等利用計画(素案)が公表されるなど、大きな動きがありました。この機会にみどりの大切さを知り、地域のみどりのあり方や世田谷のみどりの可能性について、みんなで考えたいと思います。ふるってご参加ください。

日時：平成27年9月19日(土)13:30~16:30

場所：喜多見東地区会館第1・2会議室

講師：東京農業大学准教授 阿部伸太

主催：世田谷みどり33応援団連合・世田谷区

連絡先：33応援団連合(中井)：090-7732-3713

世田谷区みどり政策課：03-5432-2281

申込：9月9日迄 せたがやコール 03-5432-3333 60人